

2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算補足資料

株式会社ハマキョウレックス

東京証券取引所プライム市場:9037



【みよし第三センター】

- I. 2025年3月期第2四半期(中間期)概況
- II. 2025年3月期下期に向けて
- III. 2025年3月期第2四半期(中間期)実績
- IV. 近物レックスの現況と今後の戦略
- V. 参考情報

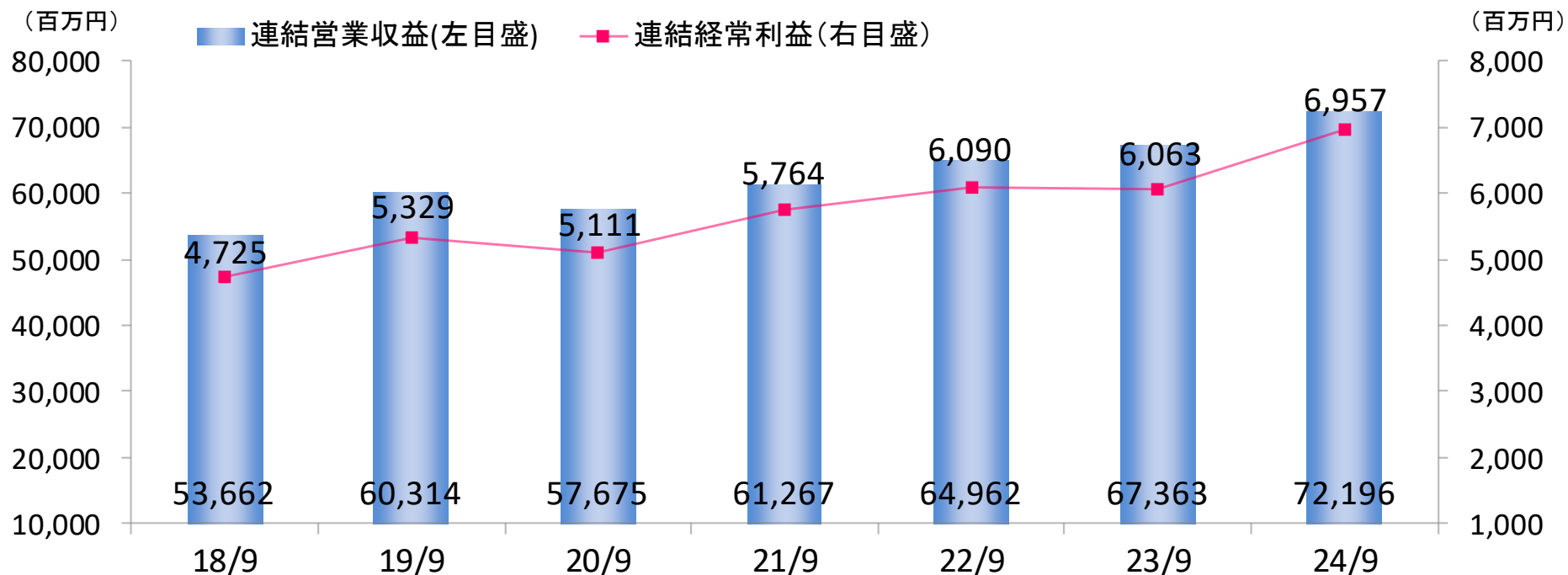
I . 2025年3月期 第2四半期（中間期）概況

I-1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の業績

営業収益は、 **721億96百万円** (前年同期比 +7.2%)
経常利益は、 **69億57百万円** (前年同期比 +14.8%) の増収増益

項目	対前期比	対前期比増減主な要因
営業収益 72,196百万円	+4,833百万円 (+7.2%)	・物流センター事業での運営の充実と新規稼働したセンターが順次業績に寄与 ・M&A効果
営業利益 6,448百万円	+808百万円 (+14.3%)	・物流センター事業で生産性向上及び収益増加 ・M&A効果
経常利益 6,957百万円	+894百万円 (+14.8%)	
親会社株主に帰属する中間純利益 4,284百万円	+528百万円 (+14.1%)	

I-2. 収益構造



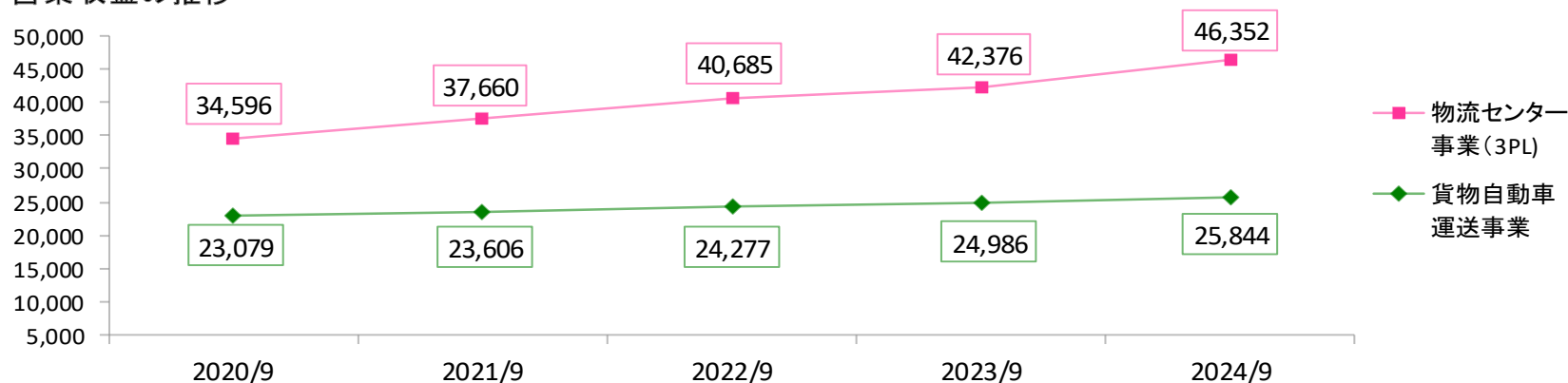
	連結業績
営業収益	4期連続増収(過去最高)
営業利益	4期連続増益(過去最高)
経常利益	増益(過去最高)
親会社株主に帰属する 中間純利益	11期連続増益(過去最高)

I-3. セグメント情報の推移

(連結: 百万円)

		2020/9 (構成比:%)	2021/9 (構成比:%)	2022/9 (構成比:%)	2023/9 (構成比:%)	2024/9 (構成比:%)	増減 (増減率: %)
物流センター 事業(3PL)	営業収益	34,596 (60.0%)	37,660 (61.5%)	40,685 (62.6%)	42,376 (62.9%)	46,352 (64.2%)	+3,976 (+9.4%)
	営業利益	3,954	4,573	4,905	4,984	5,649	+665
貨物自動車 運送事業	営業収益	23,079 (40.0%)	23,606 (38.5%)	24,277 (37.4%)	24,986 (37.1%)	25,844 (35.8%)	+857 (+3.4%)
	営業利益	936	928	721	652	787	+134

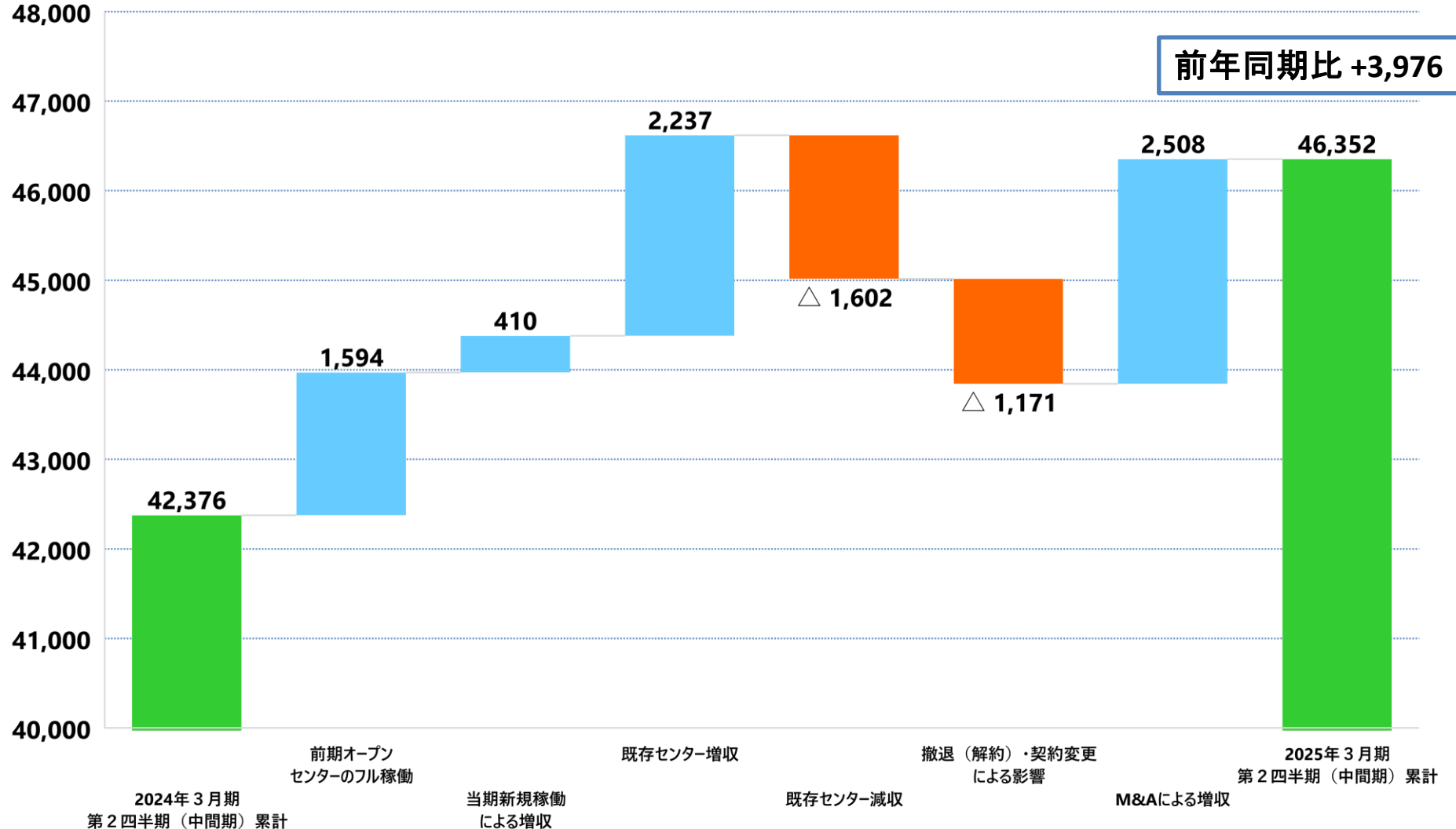
営業収益の推移



I-4. 物流センター事業(3PL)の概況

営業収益の状況

(百万円)



I-5. 物流センター事業の稼働状況

新規受託及び稼働

取扱品目	①	②	③		④	①+②-③-④
	前期受託 未稼働	当期 受託	稼働		当期 未稼働	未稼働memo
			既存※1	新規※2		
メディカル/ヘルスケア	2社	2社	3社	1社	-	
フード	2社	1社		3社	-	
アパレル		1社	1社		-	
ホームケア		2社		2社	-	
その他		2社		1社	1社	
計	4社	8社	4社	7社	1社	

※1 既存の物流センター内に稼働した案件 / ※2 新規拠点にて稼働した案件



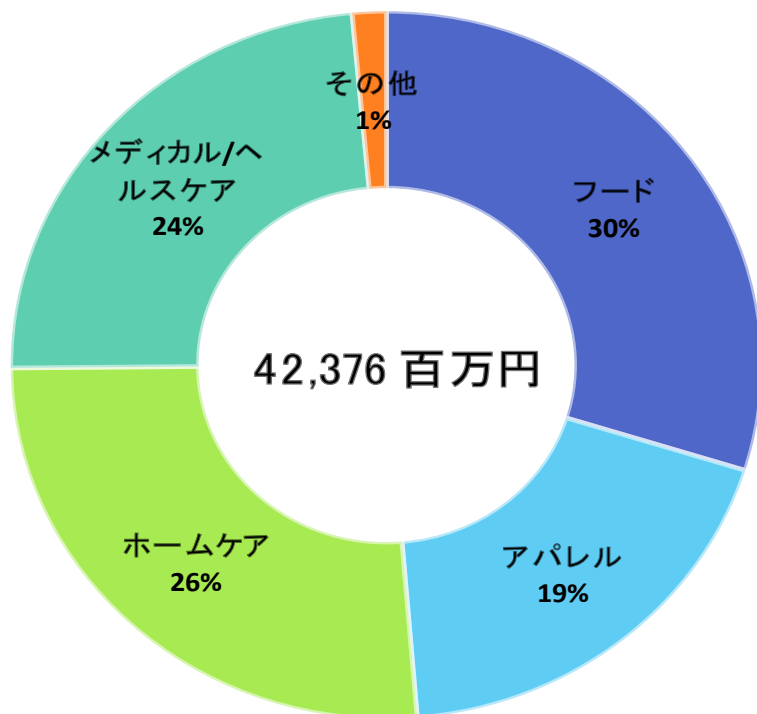
物流センター数

2024年9月30日現在

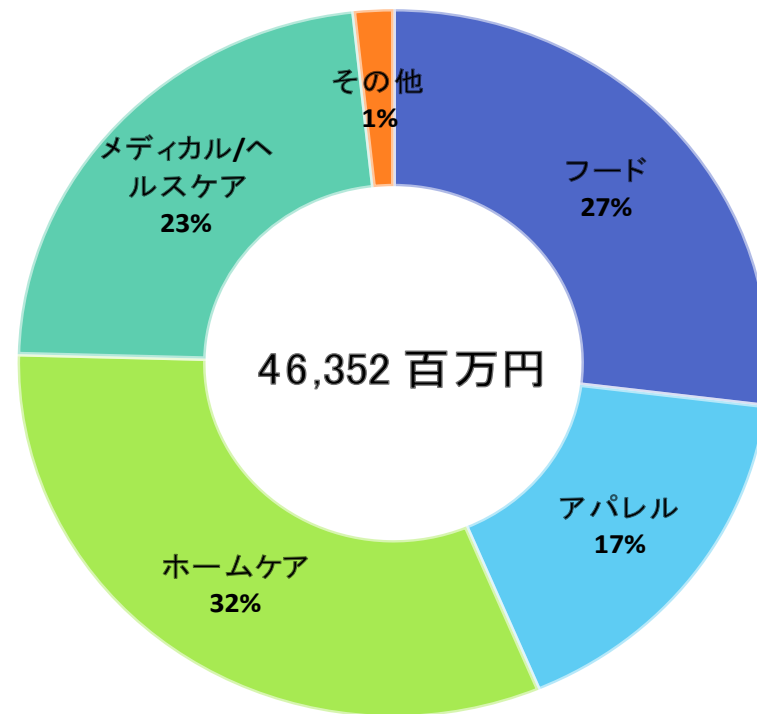
自社センター	58	(555,163㎡)
借用センター	131	(1,027,086㎡)
計	189	(前年度末比+3)

I-6. 物流センター事業の取扱カテゴリー別売上高

2024年3月期
第2四半期(中間期)累計



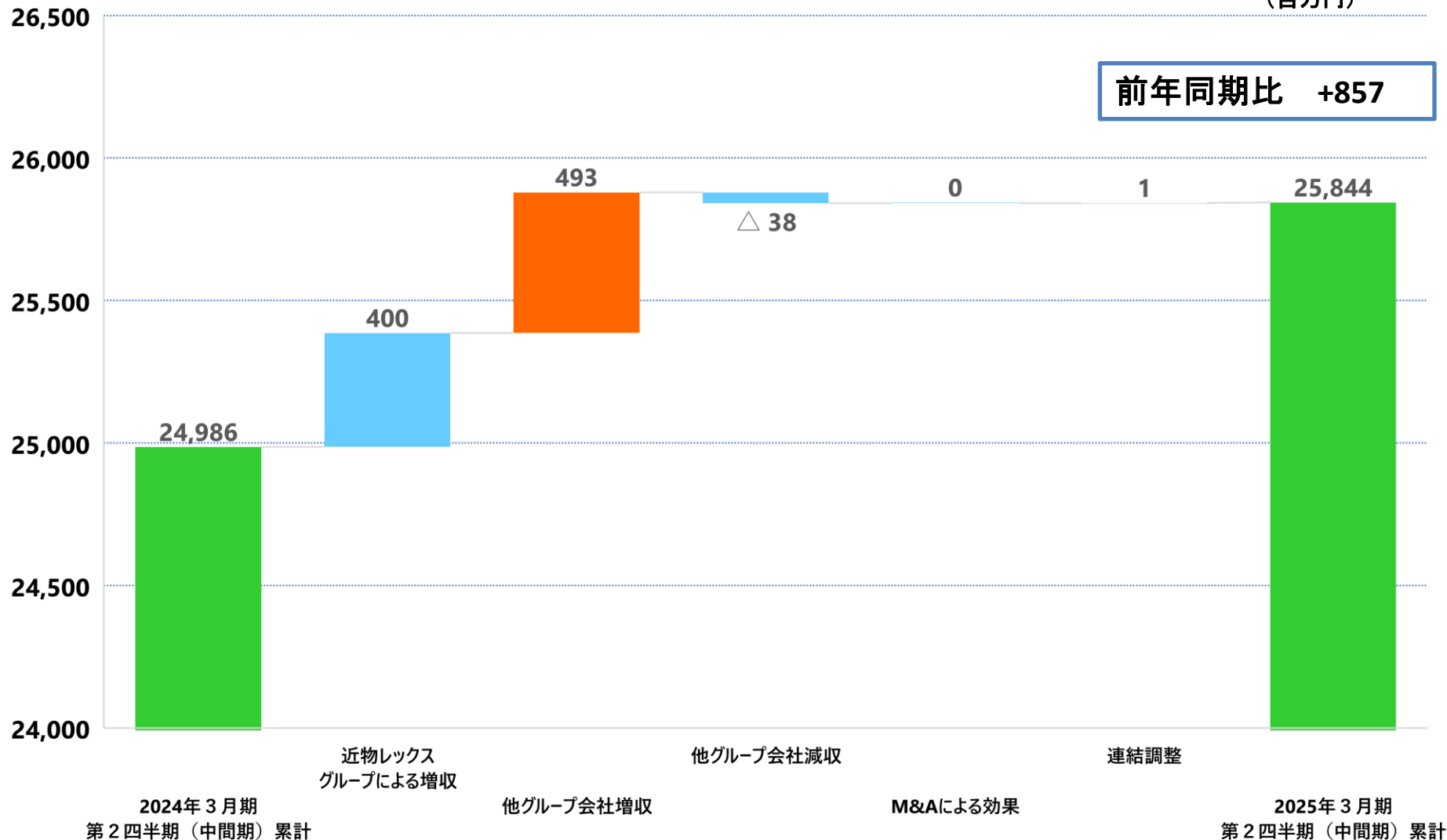
2025年3月期
第2四半期(中間期)累計



I-7. 貨物自動車運送事業の概況

営業収益の状況

(百万円)



Ⅱ. 2025年3月期 下期に向けて

Ⅱ-1. 2025年3月期 業績予想

(百万円)

	連結業績	
	計画	前期比 (増加率)
営業収益	146,000	+5,427 (+3.9%)
営業利益	12,900	+330 (+2.6%)
経常利益	13,800	+663 (+5.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,600	+294 (+3.6%)
設備計画	12,000	***



(百万円)

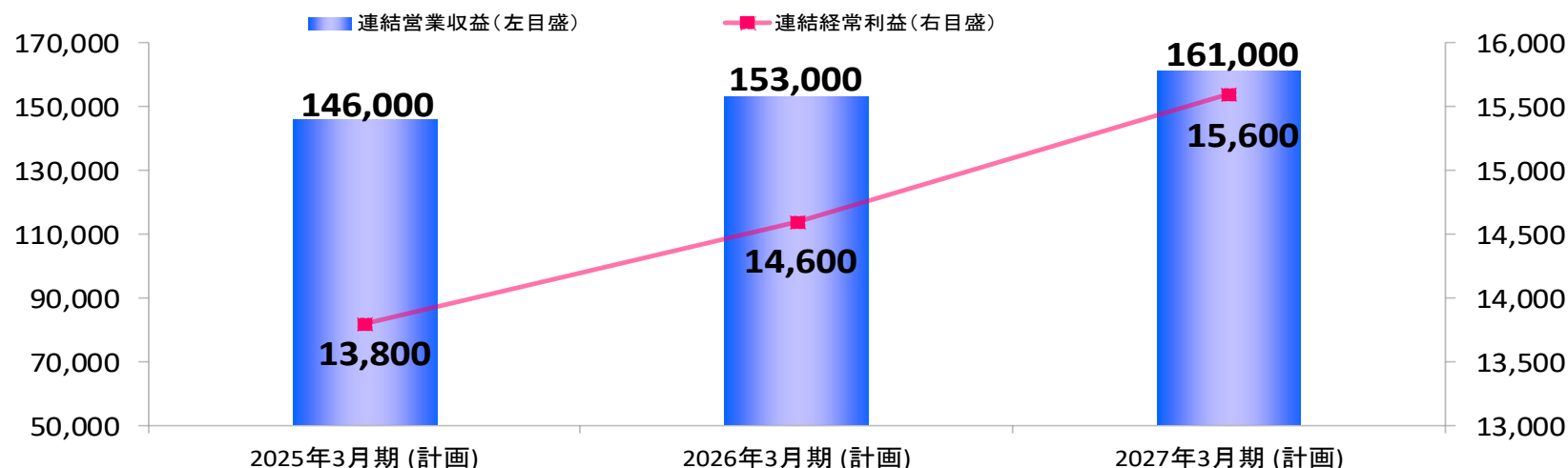
セグメント別業績予想

		計画	前期比	(増加率)
物流センター事業	営業収益	93,300	+3,397	(+3.8%)
	営業利益	11,100	+458	(+4.3%)
貨物自動車 運送事業	営業収益	52,700	+2,029	(+4.0%)
	営業利益	1,800	△123	(△6.4%)

Ⅱ-2. 中期経営計画

(百万円)

	2025年3月期 (計画)	2026年3月期 (計画)	2027年3月期 (計画)
	連結	連結	連結
営業収益	146,000	153,000	161,000
経常利益	13,800	14,600	15,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,600	9,050	9,650
1株当たり当期純利益	114.56	120.56	128.55
営業収益経常利益率	9.5%	9.5%	9.7%
設備投資計画	120億円	120億円	120億円



※2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

上記中期経営計画の1株当たり当期純利益は、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し算出しております。

Ⅱ-3. 今後の取り組み

1. 3PL事業を軸とする事業展開

- ・積極的な設備投資
- ・物流センターのDX化、省人化
- ・EC物流の拡大（ラストワンマイル）と自社配送の取り組み

2. 3PL事業とグループ会社の融合

- ・近物レックスの貨物ターミナルを物流センター化
- ・3PL配送のグループシナジーを強化

3. 新規顧客獲得に向けた取り組み

- ・3PL新規受託件数年間目標15社
- ・国内の顧客満足度を向上させるため、ニーズに応じた海外展開

4. 貨物自動車運送事業の取り組み

- ・物量増加の取り組み
- ・労働環境改善、運賃是正の取り組み

5. M&Aの継続

- ・3PL事業、貨物自動車運送事業においてシナジー効果を創出できるM&Aの取り組み

6. ESGの取り組み強化

- ・CO₂排出量削減、SDGsの推進



Ⅲ. 2025年3月期 第2四半期（中間期）実績

Ⅲ-1. 四半期会計期間別(3ヶ月)の業績推移

(連結:百万円)

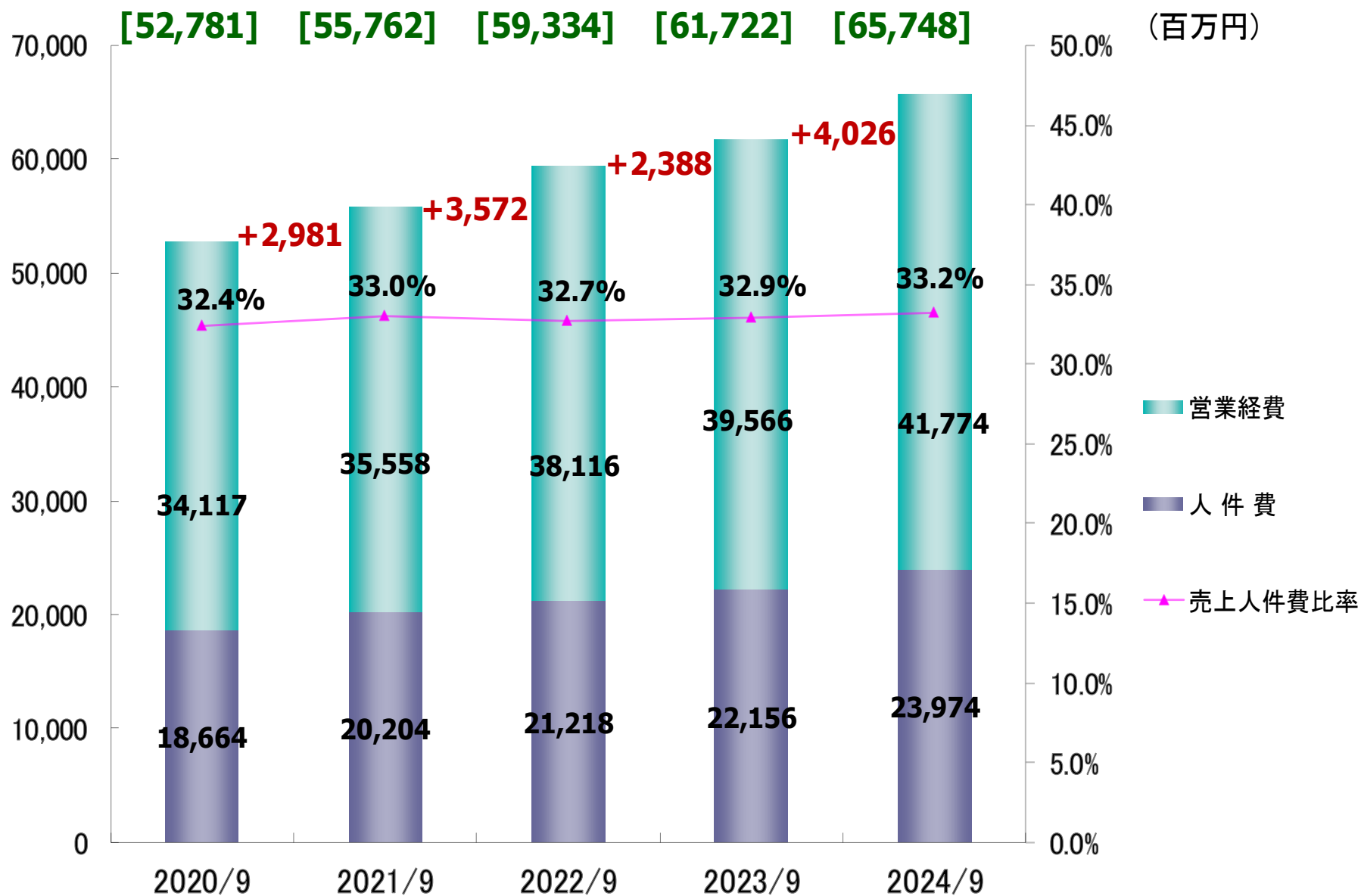
	第1四半期			第2四半期		
	2024/6	前期比 (増減率)	利益率	2024/9	前期比 (増減率)	利益率
営業収益	35,744	+2,651 (+8.0%)	—	36,452	+2,181 (+6.4%)	—
営業利益	3,278	+331 (+11.3%)	9.2%	3,170	+476 (+17.7%)	8.7%
経常利益	3,567	+380 (+11.9%)	10.0%	3,389	+513 (+17.9%)	9.3%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	2,152	+241 (+12.7%)	6.0%	2,131	+286 (+15.5%)	5.9%

Ⅲ-2. セグメント別四半期会計期間(3ヶ月)の業績推移

(百万円)

		第1四半期 (4～6月)		第2四半期 (7～9月)		第2四半期累計 (4～9月)	
		当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)
物流センター	営業収益	22,762	+2,137 (+10.4%)	23,589	+1,838 (+8.5%)	46,352	+3,976 (+9.4%)
	営業利益	2,874	+245 (+9.4%)	2,775	+419 (+17.8%)	5,649	+665 (+13.3%)
貨物自動車運送	営業収益	12,982	+514 (+4.1%)	12,862	+343 (+2.7%)	25,844	+857 (+3.4%)
	営業利益	402	+86 (+27.2%)	384	+48 (+14.3%)	787	+134 (+20.6%)

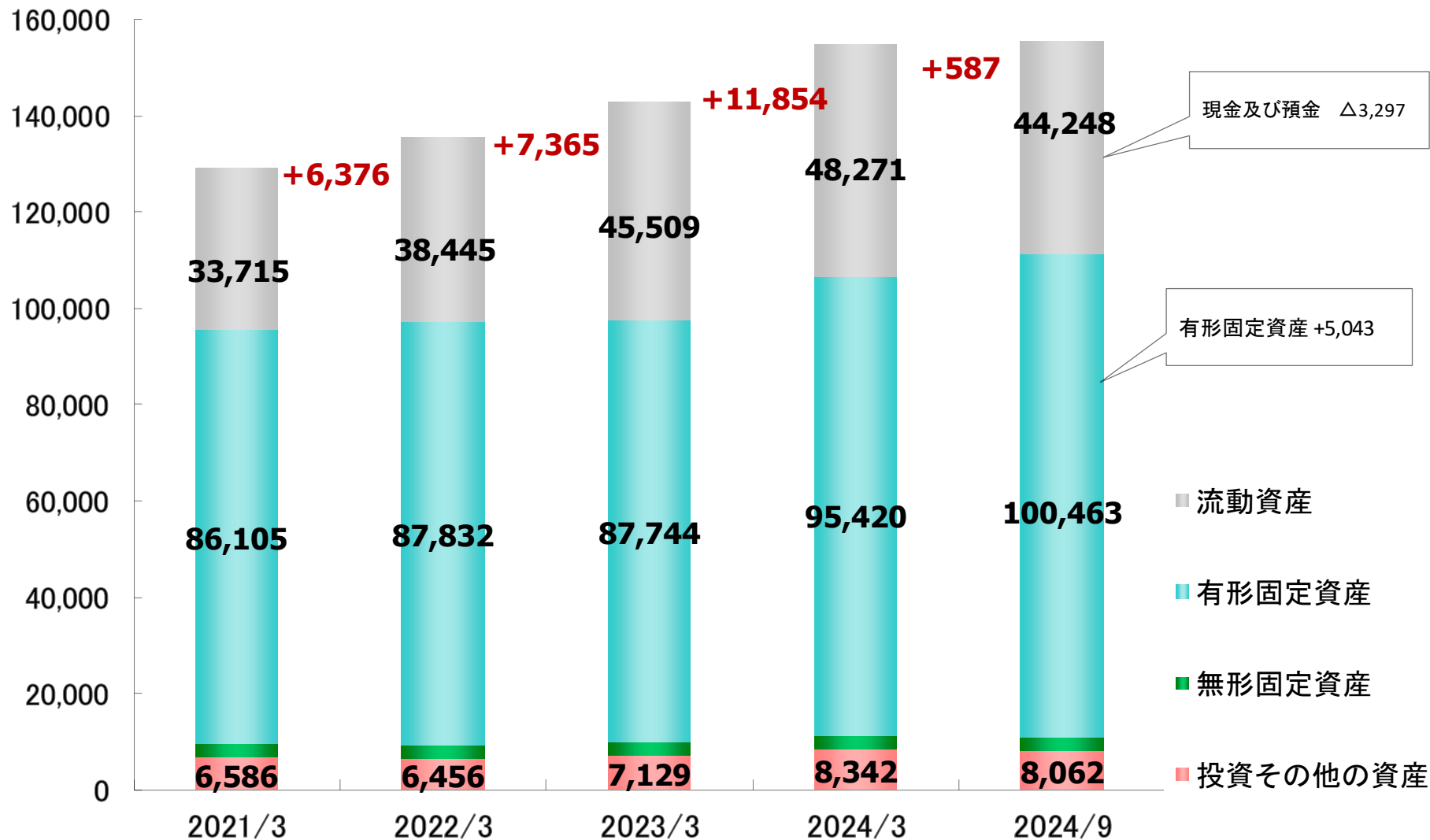
Ⅲ-3. 経費・人件費



Ⅲ-4. 貸借対照表<資産>

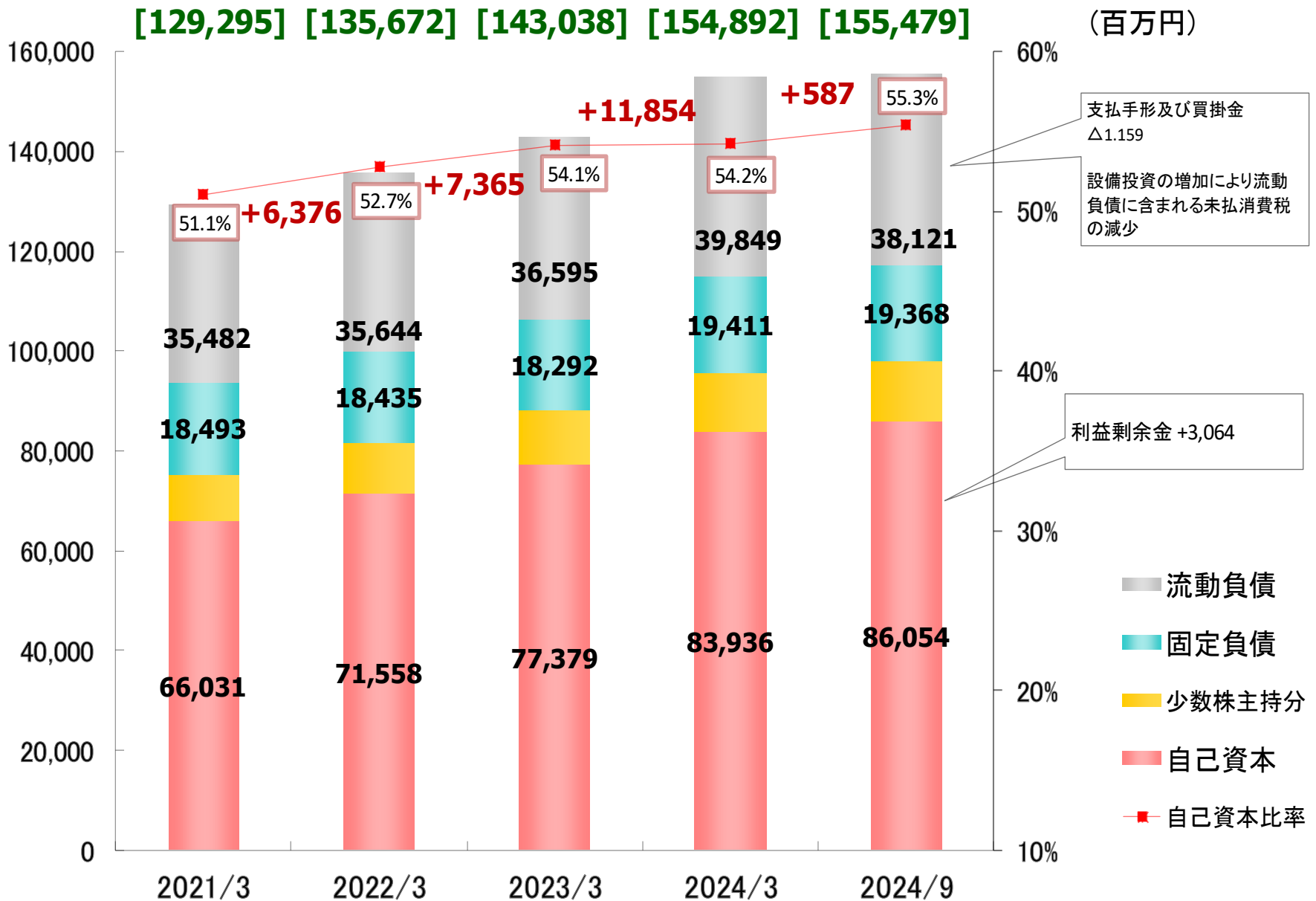
[129,295] [135,672] [143,038] [154,892] [155,479]

(連結:百万円)



中間

Ⅲ-5. 貸借対照表＜負債・純資産＞



Ⅲ-6. 有利子負債（借入金）

[22,801]

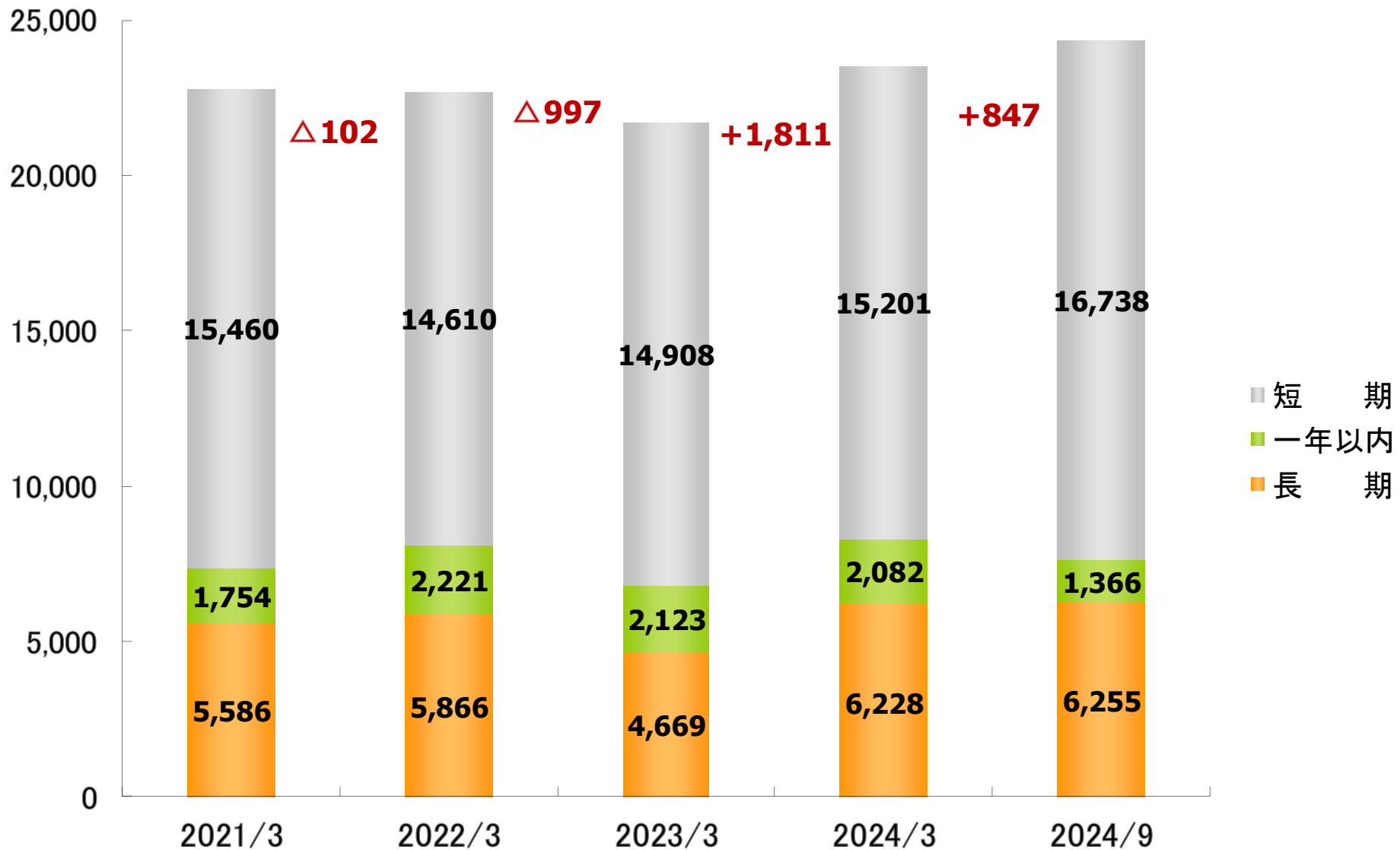
[22,698]

[21,700]

[23,512]

[24,360]

（百万円）

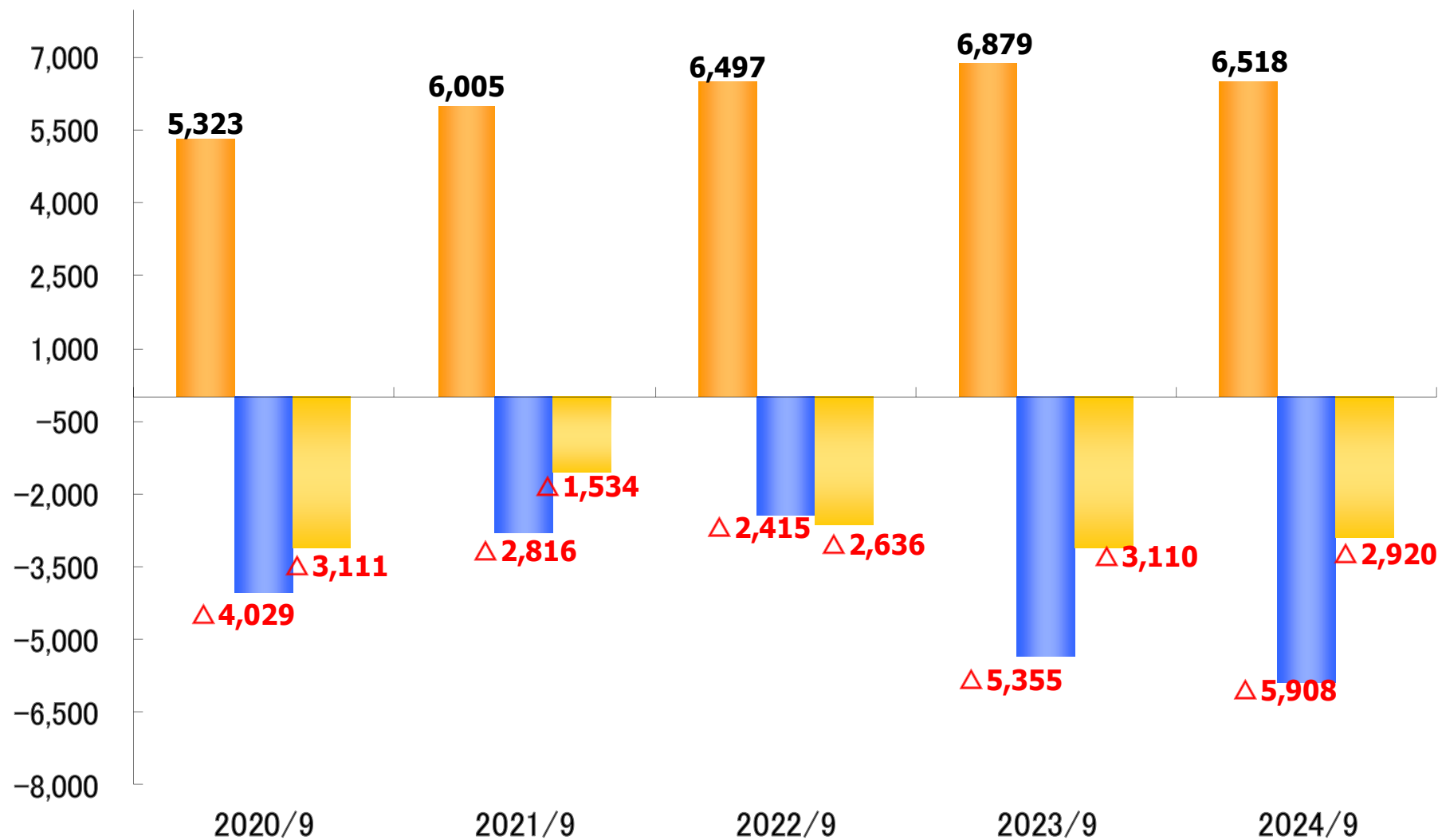


中 間

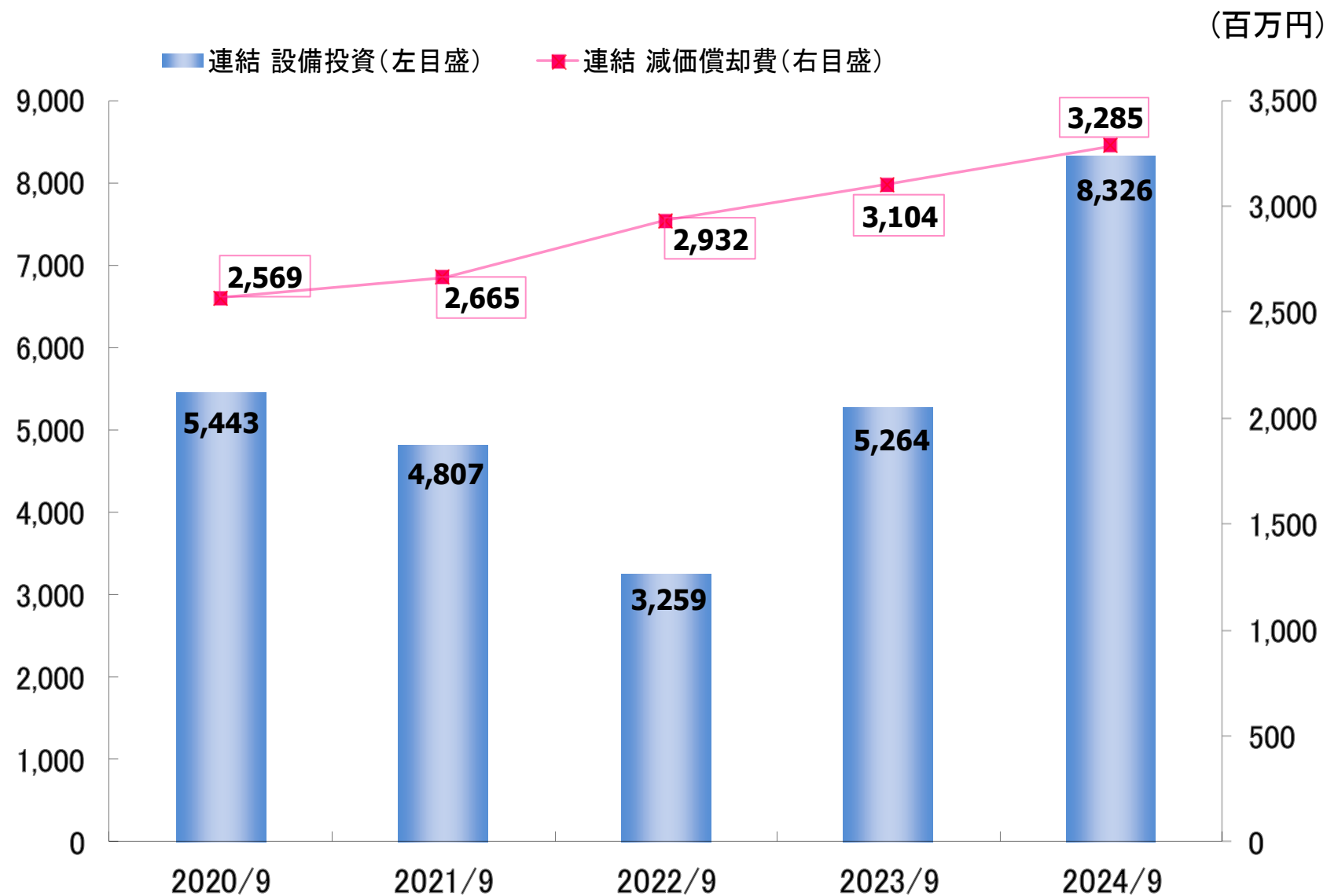
Ⅲ-7. キャッシュ・フロー

(百万円)

■ 営業活動 ■ 投資活動 ■ 財務活動



Ⅲ-8. 設備投資・減価償却費



IV. 近物レックスの現況 と 今後の戦略

IV-1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の業績

営業収益は、**188億36百万円**（前年同期比 **+2.1%**）
経常利益は、**2億26百万円**（前年同期比 **+19.1%**）の増収増益

項目	対前期比	対前期比増減要因
営業収益 18,836百万円	+392百万円 (+2.1%)	・特別積合物量増加 +172百万 ・貸切輸送増加 +61百万
営業利益 196百万円	+42百万円 (+27.9%)	・運送外注費の増加 +349百万(+4.6%)
経常利益 226百万円	+36百万円 (+19.1%)	
中間純利益 152百万円	+35百万円 (+30.0%)	

Ⅳ-2. 近物レックスの下期取組み

1. 収益力の強化

◎収入確保

- ・新規獲得による増量、JPLとの協業拡大

◎運賃是正の継続

◎グループ間取引の拡大

◎課題店所の収支改善



2. 輸送の効率化

◎幹線便の効率化

◎積載率の向上



3. 法令順守

◎再発防止策の徹底

◎内部統制の強化

3. 雇用確保

◎ドライバー採用の強化

V. 参考情報



「物」に携わる者として、

「人と接するときは、**心**を込めて」

「仕事をするときは、**初心**を忘れず前向きに」

「物を扱うときは、**心**を込めて丁寧に」

「物を運ぶときは、**心**を込めて安全に」

「如何なるときにも感謝の**心**を大切に」

を基本テーマに取り組んでおります。

V-2. 経営方針

物流の役割は駅伝でいえば最終ランナー、
地味ではあるが信頼された重要な存在。

当企業グループは信頼に応えて効率的な事業活動の展開と継続的で質の高い成長を図り、お客様第一、品質第一を基本に、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

また、短期的な収益にとらわれず、長期的な視点に立った経営を行い、3PL物流における質的内容の日本一を目指します。



会社概要（2024年9月30日現在）

● 社 名	株式会社ハマキョウレックス (HAMAKYOREX CO., LTD.)
● 設 立	1971年2月
● 資 本 金	65億47百万円
● 決 算 期	3月31日
● 従 業 員 数	連結 5,839名
● 発 行 済 株 式 数	19,012,000株※
● 株 主 数	5,521名
● 事 業 内 容	物流センター事業（3PL）、貨物自動車運送事業
● 連 結 子 会 社	34社
● 売 上 高	連結 721億96百万円
● 経 常 利 益	連結 69億57百万円

※2024年10月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。
これにより、発行済株式総数は、57,036,000株増加し、76,048,000株となっております。

V-4. 事業紹介

当社グループは、
物流センター事業と貨物自動車運送事業を中心に
展開しております。



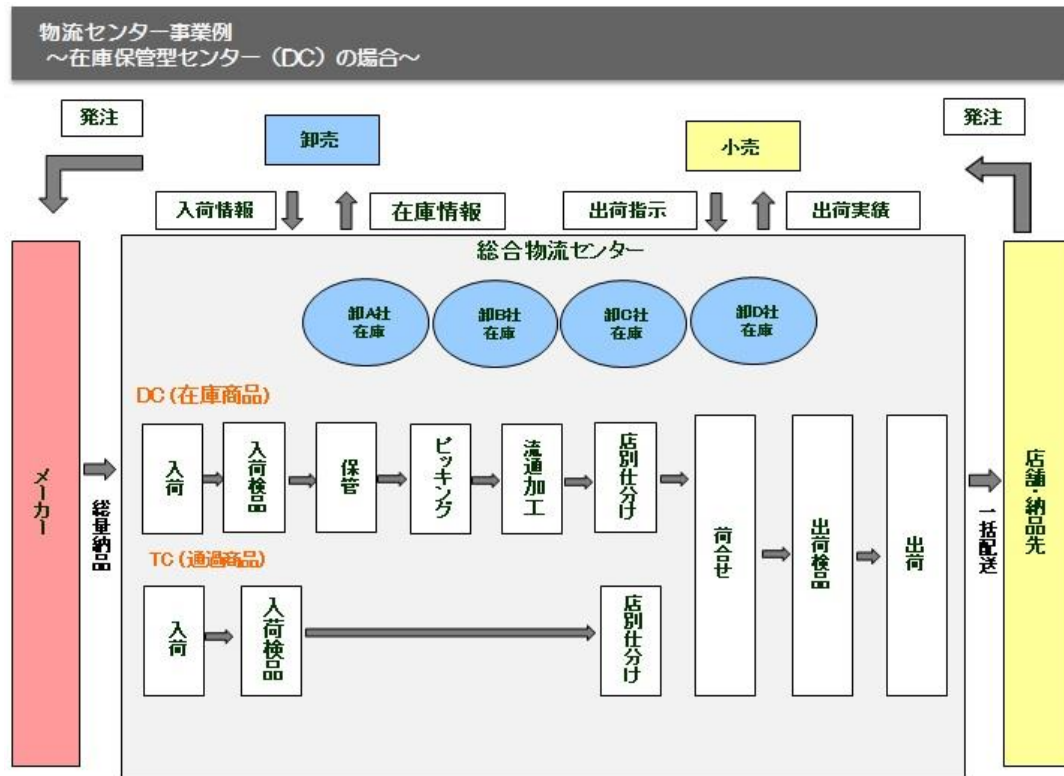
V-5. 物流センター事業

当社は3PL(3rd Party Logistics)をおこなっております。

3PLとは、『荷主様に対して物流改革を提案し包括して物流業務を受託すること』であり、一般的には、『荷主様が物流業務を外部委託(アウトソーシング)すること』を指します。

3PLの主な目的は、「物流コスト削減」「戦略的ロジスティクスの構築による利益追求」です。

お客様にとって最適な物流通をご提案し、「物流を通じてお客様へ利益を還元する」ことが最も重要な役割であると考えております。



コスト競争力 現場力

当社は、「**コミュニケーション**」を重要視し、社員・パート・アルバイトを含めた「**全員参加**」による現場主導での自社運営を実施。「**日計収支**※1」・「**生産性向上**」によるコスト削減を荷主様へ提案し、物流費削減を支援いたします。

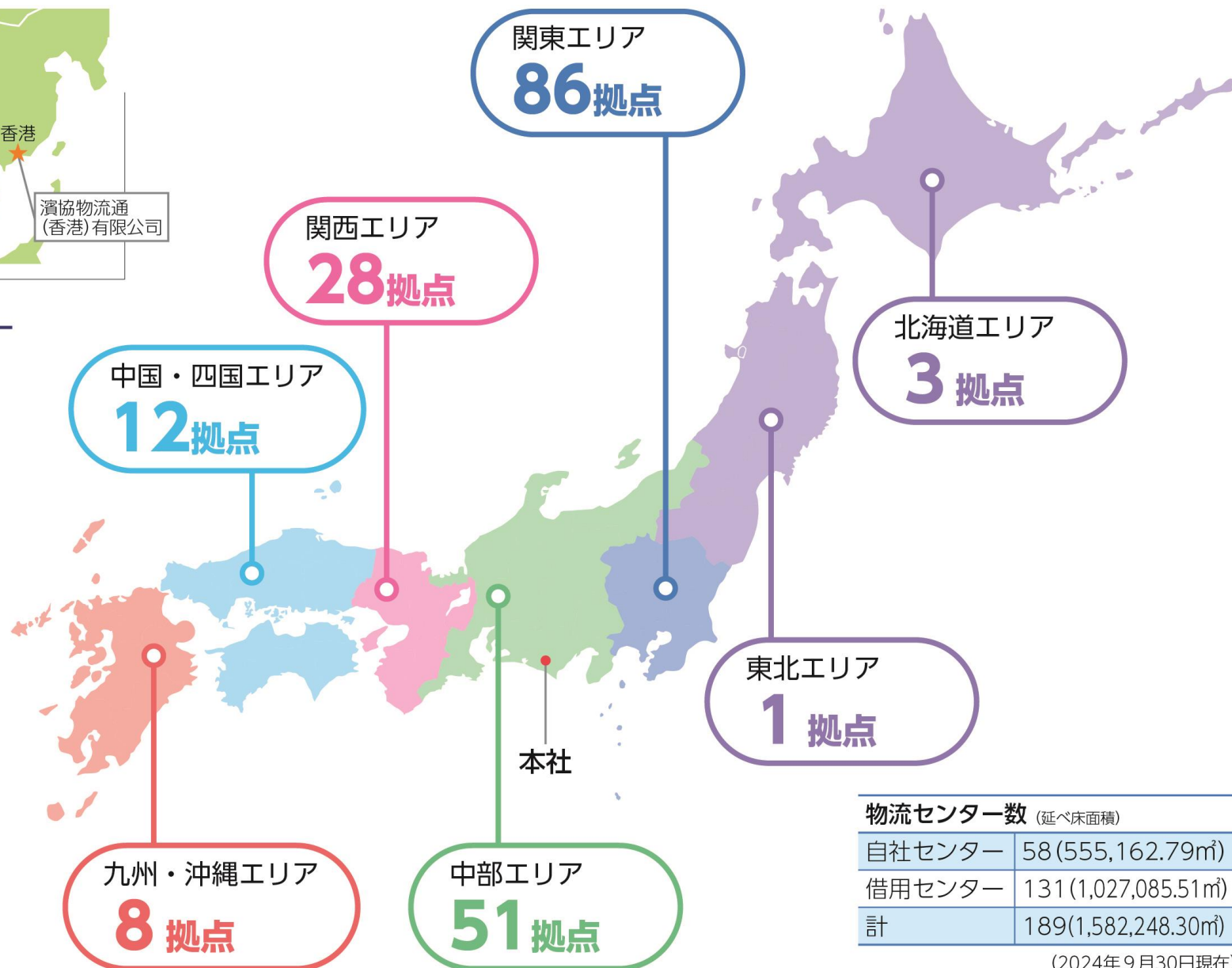
※1 日計収支とは、各拠点で、日々決算を行い、その日1日の損益を把握する仕組みです。これにより、その日の問題点を翌日の改善につなげ、日々の無駄なコストを削減していくための当社の仕組みであります。

V-7. 拠点紹介



国内物流センター
189拠点

近物レックス配送拠点
104拠点



物流センター数 (延べ床面積)

自社センター	58 (555,162.79㎡)
借用センター	131 (1,027,085.51㎡)
計	189 (1,582,248.30㎡)

(2024年9月30日現在)

IR関係問合せ先・担当者

- 執行役員

管理本部長兼経営企画室長 竹内 義之

- 経営企画室課長

河島 康男

TEL 053-444-0054



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。